

支倉常長フェロー報告書

提出日 2010年 7月 15日



申請者	氏名	近藤 敬一
	所属・職	代謝疾患医学コアセンター 代謝疾患学分野
出張期間	2010年6月24日 ~ 7月1日	
渡航先	米国 オーランド	
渡航目的	学会参加	
発表演題名あるいは共同研究課題名	The role of CHOP expressed in vascular and hematopoietic cells in vascular remodeling	
得られた成果など	<p>American Diabetes Association の 70th Scientific Sessions (6月25日~29日) に参加した。Abstract が評価され、非常に名誉なことに口頭発表の演者に選出された。6月27日の Cellular Mechanisms of Cardiovascular Complications of Diabetes のセッションで動脈硬化の血管リモデリングにおける CHOP の影響について発表した。今までは CHOP は ApoE 欠損マウスの進行動脈硬化病変でマクロファージのアポトーシスを誘導することによってプラーク形成をさらに進展させるという報告しか存在していなかったが、今回は血管傷害モデルマウスにおいて CHOP が炎症反応及び細胞増殖を誘発すること、またマクロファージよりも血管内皮における CHOP の役割がより重要であるということなど新しい知見を数多く紹介した。多くの質問を期待していたところ座長からの質問以外特になく若干拍子抜けしたが、終了後、データがよくまとまっており、プレゼンテーションも分かりやすく説得力があったとの評価をいただいた。非常に規模の大きな学会で、私が発表したセッションは小さな方ではあったがそれでも巨大スクリーンを2つ使用するほど会場が大きく圧倒されそうだった。学会中様々な分野の最新知見を見聞きでき、今後の研究の方向性を考えていくうえで非常に参考になった。有意義な5日間であった。</p>	 <p>Oral Presentation 中</p>  <p>Oral Presentation 後</p>

- ※ 帰国後 10 日以内に報告書を提出してください。HP に掲載することがあります。
- ※ 可能であれば顔写真、学会風景写真を添付してください。
- ※ 用紙が不足する場合は、適宜加えてください。